

まろにえだより

VOL. 18



敬老会余興 落語～後生殿～
小田 孝一（介護職員）



社会福祉法人 函館共愛会

養護老人ホーム まろにえ

敬老の日

祝 百賀

祝 白寿

祝 白寿

敬老祝賀会では百賀の入居者さん、白寿の入居者さんのお祝いをさせていただきました。
余興では職員の落語を披露し、フコ顔負けの腕前で入居者の皆さんだけでなく他の職員も笑いっぱなしで、会場全体が笑いに包まれていました。
記念品の贈呈で居室へ訪問させていただいた時には、嬉しさのあまり泣き出してしまう入居者さんもおられました。

Merry Christmas



感染症予防のため、今年もユニットごとでの開催となりましたが、くじ引きで盛り上がった後にはクリスマス会の昼食メニューを堪能しました。



お正月



元日は新年のご挨拶で居室訪問させていただき、新春喫茶では無病息災を願い鏡開きのお餅を美味しくいただきました。



～ハンドマッサージ～



少し暗めの照明やアロマの優しい香りに包まれたリラックスできる空間で、有資格者の職員がハンドマッサージを行い、身も心も癒されました。

入居者の皆様や先輩職員に色々教えてください。一日でも早く（何事も）できるようになりたいと思います。よろしくお願ひ致します。



介護職員
小笠原 松子

昨年12月より勤め始めまだまだわからないことも多いですが、入居者の皆様に色々教えてください。笑顔で安心して過ごしていただける環境を作れるように頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。



介護職員
小野寺 直美

編集後記

昨年の5月からコロナ感染症が五類となり、少しずつ以前の日常に戻りつつある中で、今年は元日から能戸半島で大規模な地震が発生し、被災された方々の普通の生活がさらに遠退いてしまったことが残念でなりません。

函館共愛会でも被災地の介護現場の人手不足を補う為に、法人の各施設から数名の職員を現地へ派遣しました。

派遣から戻った職員へ被災地の状況を聞かせてもらいましたが、ニュースなどで報道されているのはごく一部で、実際の現場にはまだまだ問題が多く残っているとのことでした。

被災された方々が以前のようになんとかして生活を送れるよう、一日でも早い被災地の復興を心よりお祈り申し上げ、同時に自分の何気ない普段の日常が、実は恵まれていることなのだと感じた今日この頃です。

広報係 介護支援専門員
相原

発行日 / 令和6年4月1日

編集・発行 / 社会福祉法人函館共愛会 養護老人ホームまろにえ 広報誌編集委員会

〒042-0915 函館市西旭岡町3丁目239番地2

TEL : 0138-84-6645 FAX : 0138-50-5535

URL : <http://maronie.kyouaikai.com>

